

病理解剖を行った患者様の家族の方へ（臨床研究に関する情報）

本院（又は本学）では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 ラマン分光法を用いた神経変性疾患の病因の解明・治療法の開発に関する研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学病院・神経内科学講座 病院助教 村上綾

《研究の目的》 神経変性疾患の病原性たんぱく質の分子の組成や構造の解析

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2030年3月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

アルツハイマー型認知症・パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症・多系統萎縮症・進行性核上性麻痺を含む神経変性疾患と非神経変性疾患の方で、2000年1月1日から2029年3月末日の間に病理解剖をおこなった方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）等

試料：剖検検体

《試料・情報の利用又は提供を開始する予定日》2025年4月1日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

また、必要に応じて病原体ゲノム解析を行う場合があります。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学 神経内科学講座 担当医師 病院助教 村上綾
大阪府枚方市新町 2-3-1